

5. オンラインシステムを使えない会員の講演申込・アブストラクト投稿について

「1. 2013年度年会について」においても説明しましたが、2011年度秋季総合分科会からすべての一般講演の講演申込・予稿投稿には、原則としてオンラインシステムを用いることになりました。しかし、年会および秋季総合分科会における一般講演の機会には日本数学会において最も尊重すべきことだと考えます。そのために、何らかの事情でオンラインシステムを利用できない会員のために、以下のサポートを行います。

また、この項目により詳しい説明を加えた文書も開催情報のページに用意してあります。必要な方は、事務局に電話で連絡していただければすぐに発送いたします。

講演申込用紙、アブストラクト、およびタイプセットした英文サマリー（120words（8行）程度が上限）を事務局までお送り下さい。講演申込書とアブストラクト、英文サマリーは**11月23日（金）必着**とします。

送付先：〒110-0016 東京都台東区台東1-34-8

日本数学会事務局

（封筒の表面に“年会アブストラクト在中”と朱書きのこと）

今回から欧文氏名と欧文所属、欧文講演題目、英文サマリーの入力に対応した2013年度年会以降のために改訂された講演申込用紙（本誌83頁）を必ず使用するようお願いいたします。この会報に一部綴じ込んでありますが、開催情報のページからもPDFをダウンロードできるようにリンクしてあります。また、必要ならば事務局にご請求下さい。